

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年03月03日

計画の名称	白井市における便利で住みやすい環境の実現（重点計画）												
計画の期間	平成30年度～平成32年度（3年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	白井市												
計画の目標	下水道施設の整備と適正な維持管理を進めることにより、安全で快適な生活環境を確保します。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	6	A	6	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H28当初	H30末	H32末
1	下水道汚水整備人口普及率を92.3%（H28）から93.1%（H32）に増加させる。			
	下水道汚水整備人口普及率	92%	92%	93%
	下水道汚水整備済み人口（人） / 下水道汚水全体計画人口（人）			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
当初1つであった整備計画を切り分けたため、計画を跨る成果目標については、事後評価等を関連する整備計画と一体的に実施する。														



事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

事後評価の実施時期

白井市社会資本総合整備計画事後評価機関である「白井市上下水道事業審議会」において実施

令和5年1月

公表の方法

市ホームページ上にて公表

事業効果の発現状況

定量的指標に関連する  
交付対象事業の効果の発現状況

枝線の整備を進めることにより、衛生的で快適な生活環境を整えることができた。

定量的指標以外の交付対象事業の  
効果の発現状況（必要に応じて記述）

特記事項（今後の方針等）

下水道整備は概成してるため、今後はストックマネジメント計画に基づいた適正な維持管理に努めます。

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道汚水整備人口普及率	
	最終目標値	93%
	最終実績値	89%
		計画していた開発地区の汚水整備については完了したため該当地区を整備済み人口として計上し増加したが、他地区の汚水整備済み人口が減少したため。全体として減となった。